

株式会社やまみ(プライム市場 2820)

2023年6月期第2四半期業績概要

新型コロナウイルス感染症による影響について

新型コロナウイルス感染症による大きな影響は当社では現在発生しておりません。

仕入れ等については、新型コロナウイルス感染症発生前と、変わらない状況であり、製品の供給に必要な物資等は変わらず確保されております。

売上高においても順調な推移であり、2023年6月期第2四半期（7月～12月）においても大きな影響はございませんでした。

当社は食のサプライチェーンの一員として、状況に応じた感染予防対策を講じており、消費者の皆様へ安心・安全な製品の安定供給に万全を期しております。

○直近の事業環境について

豆腐製造業は、大手小売業の要望に応えられる大規模事業者への集約が加速度的に進行しております。また、大豆や食用油の価格上昇以外にも、原油価格の上昇による包装材料や物流費など各種コストも上昇しており、コスト環境は事業者には特に厳しい市場環境となり、同業他社の廃業も増加の一途を辿っております。

そうした環境の中、当社は外国産大豆から国産大豆を使用した商品への切り替えを進め、美味しさを追求した製品の提供をしております。それにより、当社は全ての工場で売上高が前年同四半期を上回ることができました。

富士山麓工場の進捗について

富士山麓工場においては、北海道産大豆を使った新規商品を始め乾燥刻み揚げ、油揚げ等幅広く商談を進めていき、新たな商品の納入が進んでいます。2023年6月期第2四半期は、987百万円の売上高（前年同四半期は693百万円）と294百万円の増加となりました。

また、営業利益は原材料価格やエネルギー価格の高騰もありましたが、△203百万円（前年同四半期は△255百万円）と52百万円赤字幅が減少しております。

富士山麓工場の償却負担は2023年6月期第2四半期において（対象6か月間の）月平均負担額は約40百万円となっております。（前年同四半期の償却負担の月平均負担額は約47百万円）

○業績サマリー（第2四半期累計 計画比）

単位：百万円

	2023年6月期 第2四半期計画	2023年6月期 第2四半期実績	計画比 達成率
売上高	7,270	7,838	107.8%
営業利益	290	504	173.8%
経常利益	295	521	176.6%
四半期純利益	191	352	184.3%

1. 2023年6月期第2四半期業績概要

◎売上高

売上高は、当社主力商圏（中四国・関西地方等）での販売が堅調であったこと、特に関西エリアでの販売が増加し、関西工場の売上高が増加致しました。また、新商品の販売強化、著しい不採算取引における価格是正が浸透してきたことに加え、関東地方でのシェア拡大が順調に続き、売上高は計画対比で568百万円のプラスとなる7,838百万円となりました。

◎売上総利益

売上総利益は、大豆や食用油の高騰、原油価格の上昇による包装材料の値上がり、エネルギー価格の高騰等で製造原価が増加（前年同四半期比+878百万円）いたしました。また、国産大豆を使用した商品に切り替えが進み、売上総利益は1,576百万円（前年同四半期比+25百万円）となりました。

◎営業利益

営業利益は、販売費及び一般管理費で運賃コスト上昇に伴う荷造運賃の増加（前年同四半期比+63百万円）がありましたが、経費削減を図り計画対比で214百万円のプラスとなる504百万円となりました。

◎経常利益

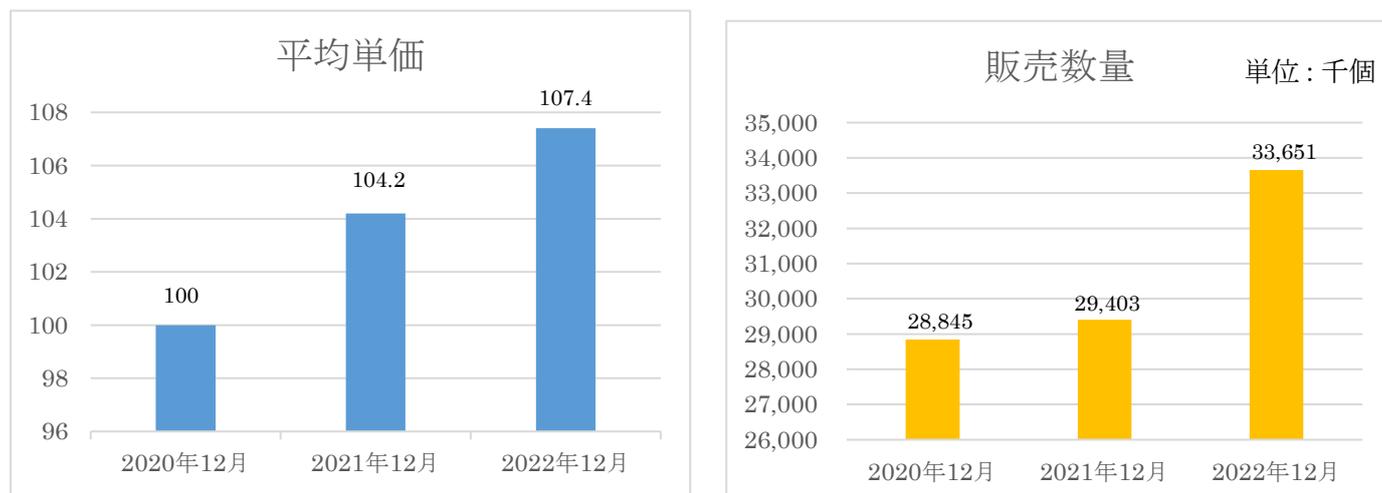
経常利益は、助成金収入の減少（前年同四半期比▲8百万円）がありましたが、計画対比で226百万円のプラスとなる521百万円となりました。

◎四半期純利益

四半期純利益は、計画対比で161百万円のプラスとなる352百万円となりました。

◎2022年12月1か月間の平均単価と販売数量

2019年6月期より当社は競争力の高い製品への集約や、著しい低価格製品の単価是正に継続的に取り組んでまいりました。2022年6月期からは国産大豆を使用した商品への切り替えを進め、2020年12月の全製品販売単価を100とした場合、2022年12月の平均単価は107.4に上昇いたしました。2月以降も価格改定をお願いしているところがございます。販売数量につきましても、価格は上昇いたしましたがい控えが起こることなく、逆に美味しさを追求した製品の認知が浸透して2022年12月の販売数量は2021年12月と比較して4,248千個増加して33,651千個となりました。



(注) 2020年12月1か月間の全製品の平均単価を100とした指標です。

2. 2023年6月期通期の業績予想ならびに配当予想の上方修正について

最近の業績動向を踏まえ、2022年8月9日に公表しました2023年6月期通期業績予想を下記のとおり修正いたしました。

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 14,539	百万円 580	百万円 590	百万円 383	円 銭 55.04
今回修正予想 (B)	15,000	905	920	700	100.47
増減額 (B-A)	461	325	330	317	
増減率 (%)	3.2	56.0	55.9	82.8	
(ご参考) 前年同期実績 (2022年6月期)	13,811	902	903	606	87.06

当社の取組として挙げていた商品企画やマーケティング施策も奏功したことで国産大豆を使用した商品への切り替えが進み、原価上昇や為替の影響を一定程度吸収することが出来る見込みとなり、売上高、営業利益、経常利益の通期の業績予想を上方修正することにいたしました。また、農林水産省補助事業である「輸入小麦等食品原材料価格高騰緊急対策事業」の申請をして、2億円の補助金が承認をされましたので、当期純利益についても通期の業績予想を上回る見込みです。

配当予想の修正

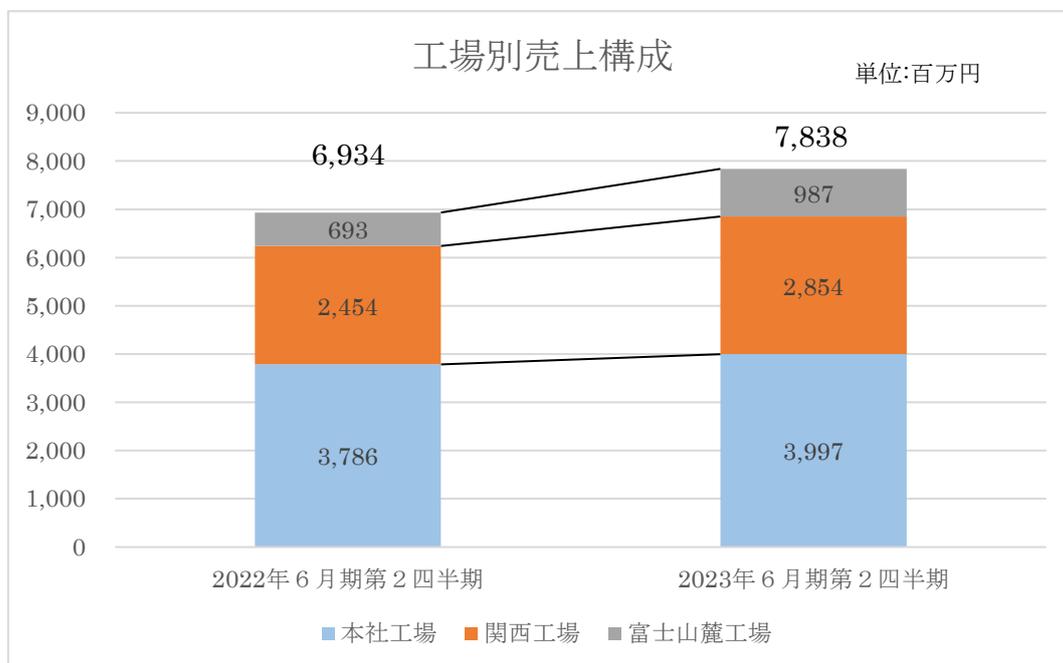
	年間配当		
	第2四半期	期末	合計
(前回予想) 2023年6月期	円 銭 14.00	円 銭 14.00	円 銭 28.00
今回修正予想	14.00	18.00	32.00
(前期実績) 2022年6月期	13.00	13.00	26.00

当社は株主様への配当を第一とし、配当原資確保のための収益力を強化し、継続的かつ安定的な配当を行うことを基本方針としております。今回、上記方針に基づき、通期の当期純利益予想を上方修正することに伴い、当期の期末配当予想を従来予想 14 円から 4 円増配した 18 円とし、年間配当予想を 28 円から 32 円に修正することにいたしました。

○工場別売上構成について

2023年6月期第2四半期における当社の工場別売上構成について

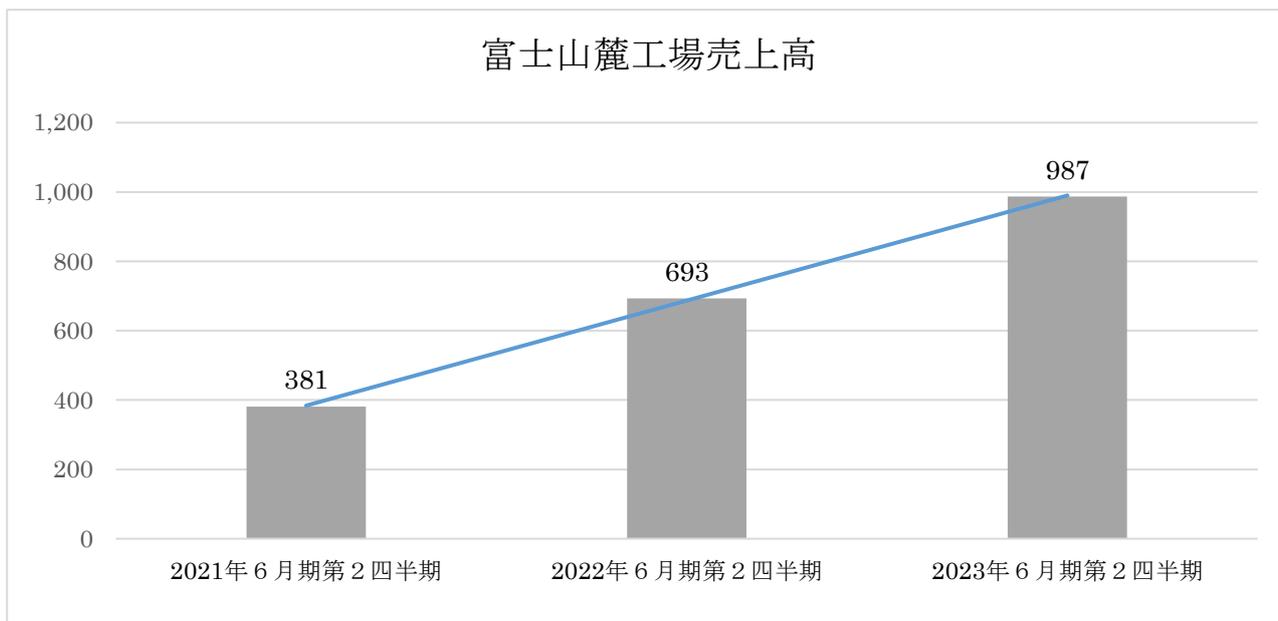
当社の主力商品である豆腐だけでなく、厚揚げ・油揚げ等も、国内産大豆による高付加価値商品への切り替え、美味しさと素材にこだわった「北海道産とよまさり大豆シリーズ」が好評で、九州から中国・四国、関西、東海の各地方に加えて、関東地方でも積極的な営業を展開し、全ての工場で前年同四半期を上回る売上高となりました。



○富士山麓工場売上高について

(注)2021年6月期第2四半期に「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号)等を適用したと仮定して算定の数値

富士山麓工場については新規取引先の増加、付加価値商品の納入等から、2023年6月期第2四半期における売上高が987百万円となり、前年第2四半期の693百万円から294百万円増加しました。



【株式会社やまみ 会社概要】

設立： 昭和50年1月

代表者： 代表取締役社長 山名 徹

資本金： 1,245百万円

事業内容： 豆腐及びその関連製品である厚揚げ、油揚げ等の製造、販売

本社： 広島県三原市沼田西町小原字袖掛73番地5

事業所 関西工場

滋賀県甲賀市水口町さつきが丘16番地

富士山麓工場

静岡県駿東郡小山町湯船字下原959番16

大阪営業所

大阪府茨木市末広町4-41-202

東京営業所

東京都北区東田端2-7-16 神原ビル2 101号室

従業員数 正社員 239名、パート社員 267名

合計 506名 (2022年12月末現在)

【本リリースに関するお問合せ先】

株式会社やまみ 経営企画室

TEL : 0120-047-803 FAX : 0848-86-3676 e-mail : ir@yamami.co.jp

本資料は、2023年6月期第2四半期の業績及び今後の経営ビジョンに関する資料の提供を目的としたものであり、当社が発行する有価証券の投資を勧誘することを目的としたものではありません。また、本資料は2023年2月14日現在のデータに基づいて作成されております。本資料に記載された意見や予測等は資料作成時点の当社の判断であり、その情報の正確性、完全性を保証し又は約束するものではなく、また、今後予告なしに変更されることがあります。